

平成 28 年度 栽培 管理 表

管理番号 1601

記入日

2016年9月10日

生産者	中山信一郎	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	山田日平	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	55 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬～	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2015年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	11500kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬～	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2015年12月中旬	出荷期間	9月下旬～12月下旬	10000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2016年4月上旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ	16年3月30～4月1日	モグラ堆肥A	200kg	
11月下旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ				
				5月7～8日	硫酸マグネシウム	600倍/700L	農業に混用
5月～7月	スーパーアミノ液肥1号	1000倍/600L	3～4回、葉面散布	6月2～3日 混用	スーパーアミノ液肥1号	800倍/700L	農業に混用
5月～7月	硫酸マグネシウム	500倍/600L	その他資材(微量要素)		硫酸マグネシウム	600倍/700L	2回目散布
				7月15～16日	スーパーアミノ液肥1号	800倍/700L	2回目散布
					以降、収穫終了まで施肥無し		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2016年4月中旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	2016年 4月10～11日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺虫	ハーベストオイル	150倍		700L		
5月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍	5月7～8日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		700L		
6月中旬 混用予定	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍	6月2～3日 混用散布	アブロードエースフロアブル	1000倍	
	展着剤	アビオンE	1000倍		700L		
	殺菌	デランフロアブル	1000倍				
7月下旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍	7月15～16日 混用散布	ストロビードライフロアブル	1000倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		700L		
8月上旬	殺虫	サンマイル水和剤	3000倍	8月4～5日	サンマイル水和剤	2000倍	
9月上旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍		700L		
				9月10日	ロディー乳剤	2000倍	700L
		以後、計画無し					カメ虫発生 部分散布
					以後散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0.3 kg/10a	当作肥料計画	9 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	10 回	当作農薬計画	5 削減
			当作実績(化学肥料使用量)		
			0.2 kg/10a		
			当作実績(化学合成農薬使用回数)		
			10 回		
			当作肥料実績		
			9 削減		
			当作農薬実績		
			5 削減		

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は4月の熊本地震、6月の豪雨、その後極度の干ばつと生産環境の大変厳しい年でした。果実は干ばつにより小玉傾向で、高温乾燥により擦れ傷等も見られるようです。しかしながら干ばつによる乾燥は糖度上昇を促すこともあるため、食味はよいのではないかと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>

平成 28 年度 栽培 管理 表

管理番号 1602

記入日

2016年9月9日

生産者	大坪啓二	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の前・家の上・開こん	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	115 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2015年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	33000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2015年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	30000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績				
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考	
2016年3月下旬	自家製ボカシ	600kg		2016年2月27～29日	自家製ボカシ	600kg		
11月上旬	自家製ボカシ	600kg		3月5日	かきがら石灰	60kg		
				4月22～29日	自家製ボカシ	600kg		
	自家製ボカシ内容 シメジ粕 米ぬか 魚粉 蒸成骨粉 油粕 ヤシ灰						以降、収穫終了後施肥予定	
	以後、施肥計画無し							

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2016年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2016年4月13～16日	デランフロアブル	1000倍 500L	
6月中旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	2000倍	5月13～14日	デランフロアブル	1000倍 500L	2回目散布
	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	6月17～18日	ICボルドー66D	100倍 500L	
6月下旬	殺菌	Zボルドー	400倍 500L	6月29日 ～7月1日 混用散布	サンマイト水和剤	3000倍	
	殺虫	アップロード水和剤	1000倍		ストロビードライフロアブル	2000倍	
7月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍		アブロード水和剤	1000倍	
	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍		アピオンE	1000倍 500L	
	展着剤	アピオンE	1000倍 500L				
9月中旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L	9月5～9日 混用散布	サンマイト水和剤	3000倍	
					アピオンE	1000倍 500L	
		以後、計画無し					以後、散布無し

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	6 回	当作農薬計画	7 割減
当作実績(化学肥料使用量)			0 kg/10a		
当作実績(化学合成農薬使用回数)			7 回		
当作肥料実績			10 割減		
当作農薬実績			6 割減		

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年4月の熊本地震、6月の豪雨、その後極度の干ばつと生産環境の大変厳しい年でした。果実は干ばつにより小玉傾向で、高温乾燥により擦れ傷等も見られるようです。しかしながら干ばつによる乾燥は糖度上昇を促すこともあるため、食味はよいのではないかと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>

平成 28 年度 栽培管理表

管理番号 1603

記入日

2016年9月17日

生産者	木村 平	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	榎幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の上・開墾・松浦	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	180 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2015年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	21000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2015年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	20000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2016年3～5月	オリジナル配合674	80kg		2016年4月17日	モグラ堆肥A	100kg	松浦圃場
10～11月	オリジナル配合674	100kg		4月19～24日	オリジナル配合674	100kg	家の上・開墾圃場
3～5月	天恵緑汁	500倍/300L		4月10～15日	天恵緑汁	500倍/400L	
							以降、収穫終了後施肥予定
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2016年4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 400L	2016年 4月10～15日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	400L
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		アピオンE	1000倍	
7月上旬 混用予定	殺菌	デランフロアブル	1000倍	6月7～11日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	500L
	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍 500L		アプロードエースフロアブル	1000倍	
9月中旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 400L	8月9～11日	モスピラン水溶剤	3000倍	600L
9月下旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 300L		アピオンE	1000倍	
4月～7月	展着剤	アピオンE (農薬混用予定)	1000倍	9月17日	サンマイト水和剤	2000倍 600L	10L 部分散布
		以後、計画無し			ロディー乳剤	2000倍	
					以後、散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	6 回	当作農薬計画	7 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回
				当作肥料実績	10 割減
				当作農薬実績	6 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年4月の熊本地震、6月の豪雨、その後極度の干ばつと生産環境の大変厳しい年でした。果実は干ばつにより小玉傾向で、高温乾燥により擦れ傷等も見られるようです。しかしながら干ばつによる乾燥は糖度上昇を促すこともあるため、食味はよいのではないかと思います。どうぞよろしくお願致します。

平成 28 年度 栽培 管理 表

管理番号 1604

記入日

2016年9月8日

生産者	波村雅子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家の上・開墾	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通		内田方・田井ノ浦	定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	90 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2015年10月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	26000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2015年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月上旬	24000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2016年3月上旬	有機配合	100kg	自家ボカシ原料使用	2016年3月7～13日	血粉	100kg	
4月上旬 混用予定	尿素	500倍/1000L	葉面散布予定	3月11～12日 混用散布	尿素	700倍/500L	
	キトサン水	300倍/1000L			キトサン水	300倍/500L	
6月中旬	有機配合	200kg	自家ボカシ原料使用	3月17～21日	有機配合	100kg	
11月上旬	有機配合	200kg	自家ボカシ原料使用	6月30日～7月7日	有機配合	120kg	以降、収穫終了後施肥予定
	自家ボカシ内容						
	米ぬか						
	魚粕						
	なたね粕 フェザーミール 硫酸カリ						
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績				
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考	
2016年4月上旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2016年4月12～15日	デランフロアブル	1000倍 500L		
6月下旬 混用予定	殺虫	アブロードエースフロアブル	1000倍		ストロビードライフロアブル	2500倍		
	殺菌	ストロビードライフロアブル	3000倍 700L		モスピラン水溶剤	3000倍		
7～9月	殺虫	モスピラン水溶剤 (株元散布)	1000倍 2L		6月14～18日 混用散布	サンマイト水和剤		2500倍 500L
10月上旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 600L			アピオンE		1000倍 700L
				7月17～22日	バスタ液剤	900ml/135L	一部分使用	
				8月22日～9月8日	サンマイト水和剤	3000倍 500L		
		以後、計画無し						
					以後、農薬散布無し			

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	1.0 kg/10a	当作肥料計画	9 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	5 回	当作農薬計画	7 割減
当作実績(化学肥料使用量)	0.4 kg/10a	当作実績(化学合成農薬使用回数)	6 回	当作肥料実績	9 割減
当作農薬実績	7 割減				

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点 当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	作物の特徴・アピールポイント等 今年は4月の熊本地震、6月の豪雨、その後極度の干ばつと生産環境の大変厳しい年でした。果実は干ばつにより小玉傾向で、高温乾燥により擦れ傷等も見られるようです。しかしながら干ばつによる乾燥は糖度上昇を促すこともあるため、食味はよいのではないかと思います。どうぞよろしくお願い致します。
--	--

平成 28 年度 栽培 管理 表

管理番号 1605

記入日

2016年9月8日

生産者	嶋村利昭	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	津畦・古場	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	15 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2015年11月上旬～今期作収穫終了日(1年間)	3300kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2015年12月上旬	出荷期間	9月下旬～12月下旬	3000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2016年3月下旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ	2016年4月2日	モグラ堆肥A	200kg	
11月中旬	モグラ堆肥A	200kg	東海マルタ				
5月～9月	ジューシーカル	800倍/500L	JA宇城 液肥		以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2016年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2016年4月14日	デランフロアブル	1000倍 500L	
5月中旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	2000倍	5月12日 混用散布	モスピラン水溶剤	2000倍	
	殺菌	フロンスサイド水和剤	1000倍 500L		フロンスサイド水和剤	1000倍 500L	
6月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍	6月10日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	アプロードフロアブル	1000倍 500L		アプロードフロアブル	1000倍 700L	
6月下旬	殺虫	ハーベストオイル	150倍 700L	7月19日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
7月中旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍		サンマイト水和剤	2000倍 500L	
	殺虫	サンマイト水和剤	2000倍 500L				
8月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	2000倍				
	殺虫	バロックフロアブル	2000倍 500L		以後散布無し		
		以後、計画無し					

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作肥料実績	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	9 回	当作農薬計画	5 削減
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回
				当作農薬実績	6 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は4月の熊本地震、6月の豪雨、その後極度の干ばつと生産環境の大変厳しい年でした。果実は干ばつにより小玉傾向で、高温乾燥により擦れ傷等も見られるようです。しかしながら干ばつによる乾燥は糖度上昇を促すこともあるため、食味はよいのではないかと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>

平成 28 年度 栽培 管理 表

管理番号 1606

記入日

2016年9月4日

生産者	山口 洋子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	家上・家下	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・青島			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	33 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2015年10月中旬～今期作収穫終了日(1年間)	5000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2015年12月中旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	4800kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2016年4月中旬 混合予定	オール有機特号	30kg	岩崎商店	2016年 4月1～9日 混合施肥	オール有機特号	30kg	
	モグラ堆肥A	80kg	東海マルタ		モグラ堆肥A	50kg	
	オール有機652	100kg	三成肥料		オール有機652	70kg	
11月下旬 混合予定	オール有機特号	70kg					
	モグラ堆肥A	80kg					
	オール有機652	70kg					以降、収穫終了後施肥予定
	以後、計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2016年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 500L	2016年 4月15日 混用散布	デランフロアブル	1000倍	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍		アピオンE	1000倍	500L
6月上旬 混用予定	殺虫	アプロード水和剤	1000倍	6月7～8日 混用散布	ストロビードライフロアブル	2000倍	
	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 500L		ハーベストオイル	200倍	
8月上旬 混用予定	殺菌	ストロビードライフロアブル	3000倍		モスピラン水溶剤	3000倍	
	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍 500L		アピオンE	1000倍	700L
9月上旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 500L	7月31日～ 8月3日 混用散布	サンマイト水和剤	2000倍	
9月中旬	殺菌	イオウフロアブル	400倍 500L		ストロビードライフロアブル	2000倍	
4月～9月	展着剤	アピオンE	1000倍 500L		アピオンE	1000倍	700L
		以後、計画無し					以後散布無し

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	7 回	当作農薬計画	6 割減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	5 回
				当作肥料実績	10 割減
				当作農薬実績	7 割減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。	今年4月の熊本地震、6月の豪雨、その後極度の干ばつと生産環境の大変厳しい年でした。果実は干ばつにより小玉傾向で、高温乾燥により擦れ傷等も見られるようです。しかしながら干ばつによる乾燥は糖度上昇を促すこともあるため、食味はよいのではないかと思います。どうぞよろしくお願い致します。

平成 28 年度 栽培 管理 表

管理番号 1607

記入日

2016年9月4日

生産者	吉田政美	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住所	熊本県宇城市三角町	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	高野・新地	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	極早生・早生・普通			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	90 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	9月下旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2015年10月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	9500kg
種・苗の入手先	該当せず	前作物名	みかん	出荷予定日	9月下旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2015年12月下旬	出荷期間	9月下旬～1月中旬	9000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2016年3月上旬	自家製ボカシ	300kg		2016年2月10～13日	自家製ボカシ	300kg	
10月下旬	自家製ボカシ	100kg					
	自家製ボカシ内容 米ぬか 魚粕 モグラ堆肥A 糖蜜 乳酸菌 水				以降、収穫終了後施肥予定		
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2016年4月中旬	殺菌	デランフロアブル	1000倍 300L	2016年4月14～15日	デランフロアブル	1000倍 300L	
5月中旬	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	5月19～20日 混用散布	モスピラン水溶剤	3000倍	
6月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L		ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	
7月中旬	殺虫	アブロードフロアブル	1000倍 300L	6月20～21日	デランフロアブル	1000倍 300L	
8月中旬	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	7月17～18日	ストロビードライフロアブル	2500倍 300L	
9月中旬	殺虫	サンマイル水和剤	3000倍 300L	8月15～16日	モスピラン水溶剤	3000倍 300L	
9月下旬	殺虫	ロディー乳剤	2000倍 300L	9月	ロディー乳剤	2500倍 300L	
		以後、計画無し			以後、農薬散布無し		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 割減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	7 回	当作農薬計画	6 割減
			当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料実績
			当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回	当作農薬実績
				10 割減	
				6 割減	

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は4月の熊本地震、6月の豪雨、その後極度の干ばつと生産環境の大変厳しい年でした。果実は干ばつにより小玉傾向で、高温乾燥により擦れ傷等も見られるようです。しかしながら干ばつによる乾燥は糖度上昇を促すこともあるため、食味はよいのではないかと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>

平成 28 年度 栽培 管理 表

管理番号 1608

記入日

2016年9月9日

生産者	泉 カズ子	栽培責任者	みすみファーム	確認責任者	(株)幸里 生産管理部
住 所	熊本県宇城市不知火町	住 所	熊本県宇城市三角町戸馳2242-1	住 所	熊本県宇城市三角町戸馳2653-2
連絡先		連絡先	0964-53-1158/0964-53-1704	連絡先	0964-53-0606/0964-53-1704

作物名	みかん	圃場番号	大桜	播種日	該当せず	栽培区分
品種名	早生			定植日	該当せず	特別栽培
栽培面積	30 a	圃場住所	宇城市三角町	収穫予定日	11月上旬	収穫予定数量
栽培方法	露地栽培			栽培期間	2015年12月下旬～今期作収穫終了日(1年間)	10000kg
種・苗の入手先	該当せず	前作作物名	みかん	出荷予定日	11月上旬	出荷予定数量
種子消毒有無	該当せず	前作終了日	2015年12月下旬	出荷期間	11月上旬～12月下旬	8000kg

施肥資材投入計画 (肥料・堆肥等)				施肥資材投入実績			
施用時期	投入資材名	使用量(10a)	備考(仕入先他)	施用月日	投入資材名	使用量(10a)	備考
2016年4月上旬	モグラ堆肥A	70kg	東海マルタ	2016年3月15日	自家肥料	100kg	
5月上旬	自家肥料	100kg		6月11日	自家肥料	100kg	
					以降、収穫終了まで施肥無し		
	自家肥料内容 油粕 魚粕						
	以後、施肥計画無し						

防除資材投入計画 (農薬等)				防除資材投入実績			
防除時期	目的	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	防除実施日	使用農薬名	使用倍率・量(10a)	備考
2016年5月上旬 混用予定	殺虫	エクシレルSE	5000倍	2016年3月14日	デランフロアブル	1000倍 400L	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 400L		5月7日 混用散布	ストロビードライフロアブル	
5月中旬 混用予定	殺虫	オリオン水和剤40	1000倍	6月10日 混用散布	エクシレルSE	5000倍 600L	
	殺菌	デランフロアブル	1000倍 400L		デランフロアブル	1000倍	
6月上旬 混用予定	殺虫	アプロードエースフロアブル	1000倍	7月6日 混用散布	アプロード水和剤	1000倍 700L	
	殺菌	デランフロアブル	1000倍 400L		モスピラン水溶剤	3000倍	
7月上旬 混用予定	殺虫	モスピラン水溶剤	3000倍		ストロビードライフロアブル	2500倍 600L	
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 400L				
8月上旬 混用予定	殺虫	サンマイト水和剤	3000倍				
	殺菌	ストロビードライフロアブル	2500倍 400L				
					以後、農薬散布無し		
					以後、計画なし		

特別栽培農産物の根拠					
県慣行栽培化学肥料使用量 (窒素成分)	24 kg/10a	当作計画(化学肥料使用量)	0 kg/10a	当作肥料計画	10 削減
県慣行栽培化学合成農薬使用回数 (成分回数)	22 回	当作計画(化学合成農薬使用回数)	11 回	当作農薬計画	5 削減
				当作実績(化学肥料使用量)	0 kg/10a
				当作実績(化学合成農薬使用回数)	7 回
				当作肥料実績	10 削減
				当作農薬実績	6 削減

産地概要(気候・風土等)他、栽培上こだわっている点	作物の特徴・アピールポイント等
<p>当産地は、気候的に年間平均気温17～18度、平均降水量2000ミリを有し、海から一気に駆け上がる台地は水はけの良い特性があり、温暖な気候とあいまって柑橘栽培にとって最適な条件を有しています。また安心・安全にこだわり、使用資材に制限を設けた特別栽培に取り組んでいます。</p>	<p>今年は4月の熊本地震、6月の豪雨、その後極度の干ばつと生産環境の大変厳しい年でした。果実は干ばつにより小玉傾向で、高温乾燥により擦れ傷等も見られるようです。しかしながら干ばつによる乾燥は糖度上昇を促すこともあるため、食味はよいのではないかと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>